ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/09/02 号(As of 2024/08/30)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	144.89
TKY 9:00AM	144.88	1.1080	160.45	1.3166	0.6796
SYD-NY High	146.25	1.1095	161.66	1.3200	0.6816
SYD-NY Low	144.65	1.1044	160.22	1.3110	0.6752
NY 5:00 PM	146.20	1.1047	161.52	1.3130	0.6766

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,563.08	228.03	日本2年債	0.3600%	0.0000%
NASDAQ	17,713.62	197.19	日本10年債	0.8900%	0.0000%
S&P	5,648.40	56.44	米国2年債	3.9176%	0.0216%
日経平均	38,647.75	285.22	米国5年債	3.7071%	0.0398%
TOPIX	2,712.63	19.61	米国10年債	3.9083%	0.0458%
ｼｶｺﾞ日経先物	39,015.00	710.00	独10年債	2.2890%	0.0080%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,376.63	▲ 3.01	英10年債	4.0140%	▲0.0035%
DAX	18,906.92	▲ 5.65	豪10年債	3.9740%	0.0140%
ﾊﾝｾﾝ指数	17,989.07	202.75	USDJPY 1M Vol	11.59%	▲0.57%
上海総合	2,842.21	19.11	USDJPY 3M Vol	11.21%	▲0.32%
NY金	2,527.60	▲ 32.70	USDJPY 6M Vol	10.39%	▲0.13%
WTI	73.55	▲ 2.36	USDJPY 1M 25RR	▲1.68%	Yen Call Over
CRB指数	277.03	▲ 2.85	EURJPY 3M Vol	9.83%	▲0.29%
ドルインデックス	101.70	0.35	EURJPY 6M Vol	9.46%	▲0.19%

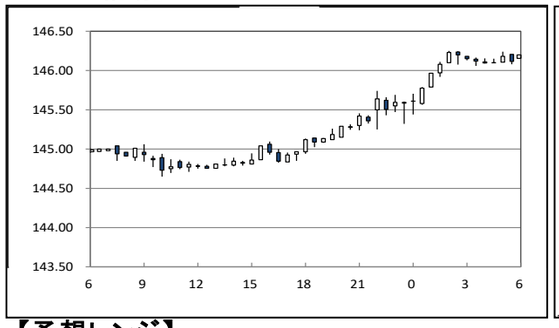
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
8月30日	08:30	日	東京CPI/コア/コアコア	8月	2.6%/2.4%/1.6%	2.3%/2.2%/1.4%
	21:30	米	PCE価格指数(前月比/前年比)	7月	0.2%/2.5%	0.2%/2.5%
8月31日	10:30	中	製造業PMI	8月	49.1	49.5
	10:30	中	非製造業PMI	8月	50.3	50.1

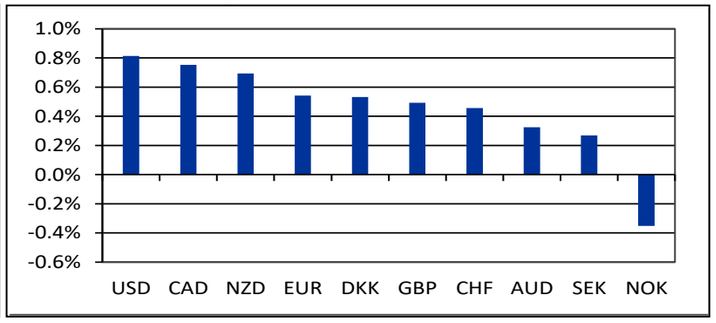
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
9月2日	10:45	中	Caixin中国製造業PMI	8月	50.0	49.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.70-147.20	1.1000-1.1200	160.50-162.50

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は144.88ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。仲値前後には輸出企業による売りが強まり、144.65をつける。売り一巡後は様子見ﾑｰﾄﾞが広がり、しばらくは横ばい推移となるも、堅調な日経平均株価を受け、引けにかけて値を上げ、145.04ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ時間のﾄﾞﾙ円は、145.04ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。午後に米経済指標の発表を控える中、ｸﾛｽ円の上昇を伴って底堅く推移し、結局145.41ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は144円台後半でｽﾀｰﾄ。実需の売りが先行し、144.65まで下落する場面もあったが、その後は日本株が上昇する展開を横目に反発し、145.41ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方に発表された注目の米7月ｺｱPCE価格指数は予想通りの結果となるも、同時に発表された米7月個人消費支出が先月分の結果を上回った事を受け、発表後はﾄﾞﾙ買いが優勢となり、145.80付近まで買われる。午後は米金利が上昇幅を拡大する動きに追随し、146.25まで上値を伸ばす。その後は徐々に動意乏しくなり、146.20ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。 一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.10台後半でｽﾀｰﾄ。1.1095まで上昇するも、その後米金利が上昇する動きが上値を抑え、1.1082ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は上述の米経済指標の結果を受けたﾄﾞﾙ買い地合いが重しとなり、1.1050付近まで下落。午後は1.1044まで値を下げるも、その後は下げ渋り、1.1047ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】

金曜日のドル円相場は米国市場で米長期金利が3.9%に上昇する流れに146円台を回復してクローズ。金曜日に発表された米7月PCEデフレータがインラインの結果となり、また米8月ミシガン大学消費者信頼感(確報)が上昇修正されたこと等から、FRBによる9月大幅利下げ観測が後退している。

本日は米国がレイバーデイで祝日の中、ドル円は本邦輸出勢の売りを消化しながら、じりじりと水準を切り上げていく展開を予想。9月FOMCにおける50bps利下げは行き過ぎと思われ、今週発表の一連の米経済指標で米経済の底堅さが確認されれば、ドル円は堅調な値動きとなるのではないか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:林・鈴木